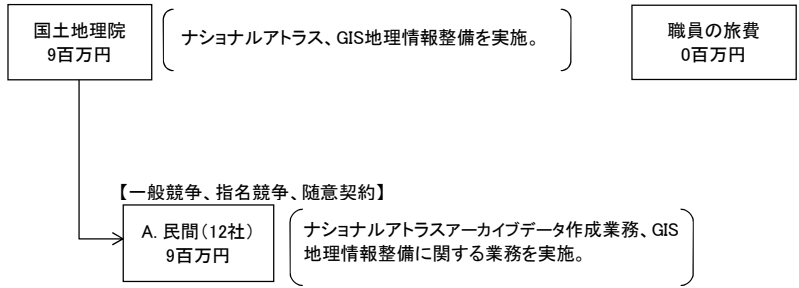


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	アトラス等作成経費		担当部局庁	国土地理院		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	S46/H22		担当課室	基本図情報部管理課		課長 下山 泰志		
会計区分	一般会計		施策名	41 国土の位置・形状を定めるための調査及び地理空間情報の整備・活用を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	測量法 地理空間情報活用推進基本法		関係する計画、通知等	基本測量に関する長期計画 地理空間情報活用推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の自然、経済、社会、文化等の諸事項を地図にまとめたナショナルアトラスを整備することにより、諸外国への国勢紹介や国土計画や地域計画等の策定に資するとともに、地形・地盤条件、土地被覆等の地理空間情報を数値化することにより、自然災害のシミュレーションの高度化や二次災害防止等に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本国政府の「日本国勢地図帳(ナショナルアトラス)」を刊行後、その情報の更新を実施している。各国政府では、ウェブ版のナショナルアトラスを整備しており、我が国でも電子化したナショナルアトラスの公開に向けて情報を整備する。また、国土地理院で保有する土地条件図等の地理情報を、GIS基盤情報や基盤地図情報とリンクして使用可能な数値情報として整備する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	13	13	10	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	13	13	10	-	-	
		執行額	13	13	9	-	-	
	執行率(%)	99.6	96.7	89.7	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	・我が国の国土や地理に対する国民の関心や理解を増大させるとともに、インターネットを通じた国際的な広報の強化に寄与。 ・防災計画策定やハザードマップ等への利活用。 (定量的な成果目標を示せない理由:目標を数値として定量的に表すことが困難であるため。)			成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	・ナショナルアトラスの公開に向けた情報の整備			活動実績	16	16	16	(0)
	・GIS地理情報整備			(当初見込み)	2	3.9	4	(10)
単位当たりコスト	ナショナルアトラス:28(万円/面)		算出根拠	単位あたりコスト=X/Y X:ナショナルアトラスに関する予算執行額(4.467百万円) Y:作成面(16面)				
	GIS地理情報整備:111(万円/面)			X:GIS地理情報整備に関する予算執行額(H22年度は4.436百万円) Y:作成面(4面)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0	0	23年度にアトラス作成は休止とし、GIS地理情報整備は基本地理調査経費に組替。				
	測量庁費	0	0					
計	0	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年度行政事業レビューの結果を踏まえ、ナショナルアトラス作成事業については、平成23年に効果を検証中
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成22年度行政事業レビューの結果を踏まえ、ナショナルアトラス作成事業については、平成23年に効果を検証中
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・発注先の選定に当たっては、透明性及び公平性の確保を図る観点から総合評価方式を含む指名競争入札方式による手続きを行い、当該手続きに基づき十分な周知期間をとるとともに、随意契約においては会計法及び予算決算及び会計令に基づき、当該事業を実施できる唯一の者と契約を締結している。</p> <p>・受益者との負担関係については、国、様々な機関が保有する情報をとりまとめて、国勢を表すデータ、又は防災に資するデータとして、経済的に益を得る者を想定することは困難であり、無償で提供している。</p> <p>・GIS地理情報整備の成果は、地方公共団体などで風水害対策等、地域の防災に役立てるために利用されている。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>・ナショナルアトラスは、諸外国への国勢紹介や国土計画や地域計画等の策定のため、また主題図の数値化業務は自然災害のシミュレーションの高度化や二次災害防止等に資するために国の保有する情報を数値化するものであるが、このうちナショナルアトラスについては、平成22年度行政事業レビューの結果を踏まえ、平成23年度に効果を検証中である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善②	<p>昨年の行政事業レビューの結果を踏まえ、引き続き事業効果の検証を進める。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>アトラス作成については、事業効果を検証するため引き続き事業を休止。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
（資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する）
（単位：百万円）

A. (株)中央ジオマテックス			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	ナショナルアトラスアーカイブデータ作成業務	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)中央ジオマテックス	ナショナルアトラスアーカイブデータの作成	3	7	92%
2	(株)武陽堂	沿岸海域主題地理情報数値化及び火山土地条件図数値データ作成	3	4	60%
3	東京地図データサービス共同企業体	沿岸海域主題地理情報数値化及び湖沼湿原データ作成	1	5	58%
4	(株)昭文社デジタルソリューション	Web版ナショナルアトラス(行政区域)の作成	1	随意契約	-
5	(株)ホサカ	備品購入	0	2	92%
6	ニッポンレンタカーサービス(株)	レンタカー借り上げ	0	随意契約	-
7	(株)つくばマルチメディア	ナショナルアトラス用ホスティングサービスの提供	0	随意契約	-
8	エプソン販売(株)	プロッター修繕	0	随意契約	-
9	キャンシステムアンドサポート(株)つくば事業所	プリンター修繕	0	随意契約	-
10	(株)根本商事	ハードディスクドライブ購入	0	随意契約	-